



ワイドレンジながらニュアンスは自然

[PROFILE] X1に次ぐ、DAC内蔵ポータブルヘッドホンアンプの第2弾。DACにシーラス・ロジック製「CS4392K」を搭載し、PCM 192kHz/24bitだけでなく、DSD 5.6MHz/1bitまで対応する。本モデルはAndroid端末とのデジタル接続に対応しており、Xperia Z1などとデジタル接続できる。ヘッドホンアンプは「TPA6130A2」、オペアンプは「TI-LME49726」、どちらもテキサス・インスツルメンツのチップを搭載し、高音質化を図っている。(編集部)



MODEL 5

ADL
A1

¥49,800(税抜)



SOUND Check!

外観は「X1」とほとんど変わらないものの、こちらはAndroidOS対応モデルとなるうえに、DSD 5.6MHzにも対応。DACチップも新たにシーラス・ロジック社製の「CS4392K」が採用されている。アナログ部分、ヘッドホンアンプ部のキャラクターも結構異なっていて、よりナチュラルテイスト寄りのイメージ。演奏もボーカルも気を張らず、ワイドレンジでありながらニュアンス表現の自然な、伸び伸びとした心地よいサウンドを聴かせてくれる。それでいて、駆動力も充分。「SRH1540」との組み合わせはややざわついた印象になるが、低域をパワフルに鳴らす。

ナロー ———— ワイド
クール ———— ウォーム
音場志向 ———— 迫力志向



音声入はUSB、ステレオミニ(3.5mm)、光デジタルを1系統搭載する。入力にはAndroid line in/Optical/USB DACから選択する

SPEC ●最大出力：70mW×2 ●対応インピーダンス：12～300Ω ●音声入力端子：USB×1、光デジタル×1、ステレオミニ(3.5mm)×1 ●音声出力端子：光デジタル×1、ステレオミニ(3.5mm)×2 ●DAC：CS4392K ●対応サンプリング周波数/量子化bit数：PCM 192kHz/24bit、DSD 5.6MHz/1bit ●外形寸法：68W×16.5H×118Dmm ●質量：約150g ●問い合わせ先：フルテック ☎03-5437-0281



Android機器とのデジタル接続と ハイレゾ再生に対応

ポータブルヘッドホンアンプ

取材・執筆 高橋 敦

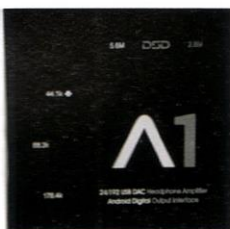


ADL
A1

¥49,800(税抜)

POINT

- ✓ Androidとのデジタル接続／
最大48kHz/16bitまでの再生が可能
- ✓ PC接続でPCMは192kHz/24bit
DSDで5.6MHzまでの再生に対応



天板にはサンプリング周波数が刻印されており、入力された音源によってランプが光る仕組みになっている。

SPEC

●対応フォーマット：最大192kHz/24bit(USB・光デジタル入出力)、最大5.6MHz(USB) ●入出力端子：ヘッドホン(ステレオミニ)×1、光デジタル音声入力×1、光デジタル音声出力×1、ライン入力×1、USB入力×1、●再生持続時間：7.5時間 ●外形寸法：68W×16.5H×118Dmm ●質量：約150g ●問い合わせ先：フルテック(株) <http://www.furutech.com/ja/>

プレーヤーやヘッドホンの音質を的確に引き出してくれる

ADLから新たなポータブルヘッドホンアンプが登場した。本機はAndroid機器とのデジタル接続への対応が大きなトピックだ。その他の機器とは光デジタル接続も可能で、PCとの組み合わせではPCM192kHz/24bitやDSD 2.8/5.6MHzにも対応する。サイズ感はいわゆるボタンとして一般的なところ。筐体天板はアルミ、裏面はラバー素材。プレーヤーと重ねる場合は裏面を使えばお互いに傷をつけない。

キレの良さが持ち味のヘッドホンとの組み合わせを試してみたところ、その持ち味を見事に引き出してくれた。ボーカルのシャープさや鈴鳴り感、ギターのカッティングのエッジ感等には、高音の再現性のクリアさを発揮。ベースとドラムスのソリッドな太さやドライブからはアンプとしての制動力を実感できる。プレーヤーやイヤホン・ヘッドホンの音質を的確に引き出すという、アンプの役割を忠実にこなしてくれる一台だ。